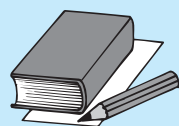


児童生徒の

学力向上をめざして



学力・学習状況調査

「二人ひとりの子どもが確かな学力を身につけ、社会の変化に対応しながら、よりよい人生を歩んで欲しい。」という願いの実現に向け、教育の課題を把握するために実施しています。

▼調査内容および調査結果

文部科学省が小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成19年度から実施しています。内容は国語と算数・数

学の問題と学習習慣などの質問調査です。

今年度の調査結果では、幸手市の児童生徒の学力は、全国および埼玉県平均とほぼ同じで大きな差はないことが分かりました。

このほかに埼玉県では、小学校5年生、中学校2、3年生を対象に学習状況調査が実施されています。

また、「学力」「規律ある態度」「体力」に関する基礎・基本を「教育に関する3つの達成目標」と名付け、「学力」については小学校1年生から中学校3年生までを対象に「読む・書く」「計算」の定着を確認する調査を実施しています。

▼調査結果を基に

各学校では、学習状況の結果を分析し、課題を把握して、学力向上のために工夫をした取組を行っています。

学力調査の個別結果は児

童生徒を通じて保護者にも知らせ、得意不得意な問題を把握するだけでなく、学力の伸びを知ることができるので、家庭学習に役立てることもできます。

各学校の取組

▼授業を通して

児童生徒が知識や考え方を身につけていく場として最も大切なのは授業です。考えたり発表したり、友だちの意見を聞いたりして学び合うことができます。

学校では、1時間の授業を複数の教員で教えたり、学級を少人数に分けて教えたりするなど、きめ細かな指導を実施しています。基礎・基本とともに、難しい問題への挑戦意欲や自分の考えをまとめる力を伸ばします。

▼基礎・基本の定着

多くの学校では、朝の時間や昼休み前後の時間を利用して、漢字や計算、英単語などの繰返し練習を行っています。一人ひとりが自分のペースでじっくり学習できるの、効果があります。さらに、子どもたちが不

得意な作文練習や、豊かな心や考え方を形成する読書や読み聞かせを組み合わせる学校もあります。

基礎・基本の定着のためには日々の積み重ねが大切ですので、宿題や家庭学習カードなどを活用し、家庭と連携しながら、学習習慣を身につける取組も進めています。

▼教育委員会の学校支援

教育委員会では、「子どもが学ぶ喜びを感じ、分かる授業」をめざし、学校訪問や研修を通して教員の授業力向上の支援をしています。

また、一人ひとりの子どもへのきめ細かな指導にはより多くの教員が必要なため、国や県の制度を活用して教員の人数を増やすとともに、市独自の教育支援員という仕組みを設けています。

学校のニーズに合わせて教育支援員を配置し、より多くの児童生徒の指導に関われるようにしています。

さらに、各校の教務主任を中心に、教育課程連絡協議会を開催し、教育に関する3つの達成目標推進の実践や、新学習指導要領の実

施についての情報交換を行い、学力向上対策についての協議をしています。

子どもたちにとって最も大切なことは、学ぶ意欲と学び続ける努力であり、さまざまな場で時間をかけて育成されるものです。

「継続は力なり」の言葉のように、家庭の協力を得ながら、子どもたちが確かな学力を身につけることができるよう、教育委員会は学校教育を支えていきます。

問合せ 学校教育課 ☎(43)

1111内線632・FAX

(43) 3188



幸手市環境基本計画の取組状況



市では、「幸手市環境基本計画」を策定し、50年後の将来を目安とした幸手の望ましい姿を「幸手の環境像」として掲げています。

今回、「幸手の環境像」に近づくための「重点目標」を実現する「協働の取組指標」について、平成19年度末時点における取組状況を調査しました。ここでは、その状況の一部をお知らせします。

問合せ 環境課 ☎ (48) 0331 ・ FAX (48) 2226

【環境基本計画に掲げる「重点目標」の取組状況】(一部抜粋)

協働の取組指標	担当課	達成度	取組状況
・行政の車両に、低公害車を使います	財政課	○	公用車の買い替えについては、普通自動車を廃車して、軽自動車およびハイブリッドカーの購入を実施しています。
・公共施設において、建材の健康への安全性を確保します	財政課	○	市役所本庁舎において、アスベスト撤去工事を実施しました。
・燃やせるごみの中の生ごみを減らします	環境課	○	平成19年度は、平成18年度に比べ約31%減量しました。
・生ごみ堆肥化のモデル事業を行います	環境課	×	実施していません。
・公共工事における再生資材利用を拡充します	道路河川課	○	市発注の道路工事および河川工事において、設計書に再生材利用を明記し、契約時に建設工事に係る資材の再資源化に関する法律に伴う書面にて確認しています。また、道路占用工事において占用者に対し再生材利用の協力を依頼しています。
・市民による公園緑地の自主的管理を行います	都市整備課	○	9団体(自治会・区)による除草などが実施されています。
・こどもエコクラブを発展させます	環境課	△	サポーターを中心に積極的にエコライフに取り組んでいます。エコライフの取組については、後方支援に携わっています。
・ビオトープ・体験農園など、子どもの体験学習の場・施設を充実させます	学校教育課	○	各学校が地域や学校環境の実態に応じて、ビオトープや学校農園などを整備しています。教科の学習や学校行事の中で、環境に関する体験的な活動を実施しています。
・環境についての意見交換・議論を進める市民会議を行います	環境課	○	市民環境ネット会議を毎月1回開催し、環境に関する話し合いをしました。
・伝統的な祭事・行事など、地域社会の文化活動を継承します	生涯学習課	○	松石地区・千塚地区のささら獅子舞、高須賀地区の大杉ばやしなど、地域に根ざした伝統芸能は、すでに市指定文化財に指定したほか、補助金を交付し地域社会の伝統行事継承のための支援を続けています。
・市民農園の整備・運営に、農家の知識・能力が活かされるようにします	産業振興課	△	農家の畑を借りて、野菜作り講習会を検討しています。
・事業所の環境対策や化学物質・危険物などについて情報公開を充実させます	環境課	×	環境対策をはじめ、環境に関する事業者の情報公開については、特段、市では働きかけを行っていません。
・環境情報の共有に向けた地域環境ガイドを更新・発展させます	環境課	○	市ホームページ内に「幸手市環境ナビゲーション」という環境活動に関するページを作成しています。主に市民の活動などを定期的に更新しています。

※達成度 ○…実施している、改善している、目標を達成した △…検討中、変化なし ×…実施していない

人権それは愛

「つながり」

もしも、

キミが悩んでいたら

私は迷わず

一緒に考える

もしも、

キミが挑戦するなら

私は迷わず

キミを支える

もしも、

キミが困っていたら

私は迷わず

手をさしのべる

もしも、

キミに嬉しい事があったなら

私は迷わず

素直に思いつき喜び

キミをほめる

私とキミはそうやって、

毎日 何かで

つながっている・・・

(中学2年生の詩より)

日々の生活の中で、私たち一人ひとりが、相手を思いやり、相手の立場に立った行動を心がけることで、人権を尊重しあえる誰もが幸せな社会になるのではないのでしょうか。

※12月4日から10日までは「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」です。

(国では、世界人権宣言が国際連合総会で採択された1948年12月10日を記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定めています。今年は、この人権宣言が採択されてから60周年の記念の年です。)